

世代を超えた市民交流の場を提供、新規来街者の取り込みにつながる

山形商工会議所

機関名	山形商工会議所			
所在地	山形市七日町3-1-9			
電話番号	023-622-4666			
地域概要	(1)管内人口	256千人	(2)管内商店街数	61商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	3商店街	(2)会員数	195商店
	(3)空店舗率	4%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の類型	1.超広域型商店街	2.広域型商店街	3.地域型商店街	4.近隣型商店街

【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（複合施設）

- ・乳幼児一時預かり事業
- ・高齢者交流サロン

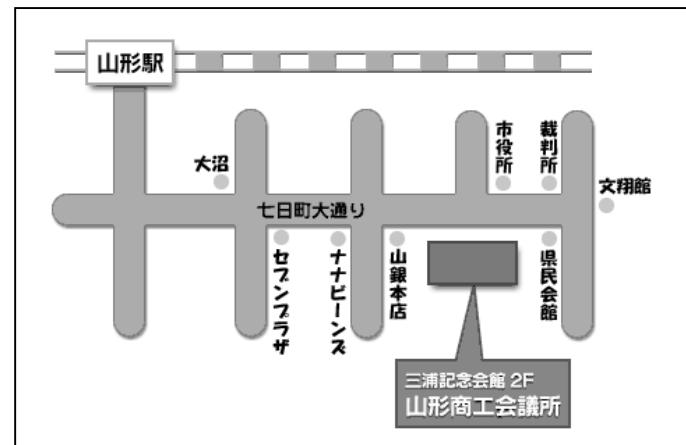
総事業費 16,982千円

【事業実施内容】

1. 背景

山形市は山形県の県庁所在地として発展してきたが、近年の経済情勢や商業環境の変化、新たな市街地の形成に伴う郊外への商業集積等により、中心商店街の活力が低下しつつある。区画整理事業や西口新都心ビル（霞城セントラル）、七日町第4ブロック北開発ビル（イイナス）オープンなど市街地の整備改善も進展を見せているが、平成12年1月に山形駅前の山形ビブレ、同年8月には七日町の山形松坂屋と、本市の代表的な商業集積地区である駅前地区、七日町地区それぞれにおいて核店舗であった大型店が閉店した。さらには平成13年5月に県立中央病院が郊外に移転するなど、中心部の商業環境が急変しつつあり、空洞化傾向の加速が危惧されているところである。

一方、中心部には買物客向けの一時託児機能や子どもがのびのび遊べる場所が不足しており、乳幼児を連れた親などが気軽に買物できる環境づくりが求められている。また、高齢化の進展に伴い、高齢者が気軽に集まり趣味活動等を通して仲間づくりや生きがいづくりをする場が求められている。



山形市七日町地区の地図

（山形商工会議所のHPより）

これらの背景から、平成 14 年度より旧山形松坂屋ビルの上階フロアを賃貸し、買物客の利便性向上やコミュニティの形成を図るための施設として利用することにより、空き店舗の解消と少子高齢化社会への対応を図り、商店街の機能強化と来街者の利便性向上により集客力を強化し、中心商店街の活性化に寄与することを目的として「ナナ・ビーンズ事業」を実施している。

このうち、子育て支援施設と、高齢者交流サロンが平成 14 年度に引き続き、コミュニティ施設活用商店街活性化事業の対象である。



ナナ・ビーンズの外観

2. 事業内容

山形市中心市街地の活性化と、賑わいの創出、既存ストックの有効活用を図る観点から、旧山形松坂屋ビル利活用事業（ナナ・ビーンズ事業）を実施した。

本事業では、山形商工会議所が国・県・市の補助金を受け、4 階から 8 階のフロアをビル所有者から賃貸整備し、全体の管理運営を商工会議所が行う。そして、各フロア個別の運営は専門の団体が行うものである。

平成 14 年 6 月 29 日に 4 階、5 階をオープン、同年 9 月 28 日に全館をグランドオープンした。

このうち、5 階の子育てランドあ～べと、高齢者交流サロンについて、コミュニティ施設活用商店街活性化事業を活用している。

(1) フロア構成

公共的 利用	8F	スポーツプラザ 21
	7F	学習空間 mana-vi
	6F	ギャラリーなな
	5F	子育てランドあ～べ 高齢者交流サロン やまがた伝統こけし館
	4F	飲食チャレンジショップ「アキナス」 インキュベートオフィス
	3F	民間商業テナント（ビル所有者が誘致）
	2F	
	1F	
民間 施設	B1	有料駐車場 41 台（ビル所有者が整備）

(注) ビル建築年：昭和 48 年（築 30 年）

延床面積 : 20,411 m² (うち、旧松坂屋所有 17,927 m²)

店舗閉鎖 : 平成 12 年 8 月 20 日

◎全フロア：毎週木曜日定休。（4階インキュベートオフィスを除く）

(2) 「子育てランドあ～べ」の概要

乳幼児の一時預かり、個人及びグループでの遊び場、育児情報交換・相談やカウンセリングなどからなる子育て支援施設。

運営団体：NPO 法人 やまがた育児サークルランド

運営体制：代表 1名、事務（常勤）4名・（パート）3名、保育者（シフト）35名

実施事業

・乳幼児一時預かり事業

生後 6 ヶ月～未就学の乳幼児を対象に、開設時間 9 時～16 時、1 回の託児は最長 3 時間、料金 500 円/時間（最初の 1 時間 500 円、以降 30 分ごと 250 円）で預かる。

・子育て支援親子交流事業、子育て支援親子学習事業

・子育て支援育児等相談事業



子育てランド あ～べ = 内部（左）、子育て支援交流事業風景（右）
(ナナ・ビーンズの HP より)

(3) 「高齢者交流サロン」の概要

高齢者が集い、趣味活動や談話・交流ができる高齢者交流施設。

運営団体：山形市老人クラブ連合会

運営体制：役員 1 名、事務員 1 名、臨時職員 1 名

事業概要：90 畳の広い和室（2 部屋に区切ることができる）と会議室、展示スペース



高齢者交流施設（ナナ・ビーンズの HP より）

(4) その他の施設

4階 山形インキュベートプラザ

新規創業や新たな分野の事業開拓など起業家を支援する施設で、「インキュベートオフィス」と飲食業の起業家を支援する飲食チャレンジショップ「アキナス」がある。運営は山形ベンチャーマーケット。

5回 やまがた伝統こけし館

こけしの展示、絵付け体験、観光案内等のこけし展示施設で、運営は山形市観光協会。

6階 ギャラリーなな

文化活動の推進や絵画や書道、写真などの作品展示等を通した交流および文化関係の公開講座などができるギャラリーとして活用。運営は山形県芸術文化会議。

7階 学習空間 mana - vi

中・高校生や一般社会人等が自主的・自発的に学習するスペースとして活用。運営は子ども育成ボランティア山形。

8階 スポーツプラザ 2 1

競技スポーツ・観るスポーツの振興を図るため、スポーツ交流スペースとして、大型スクリーンを設置し、サッカーJ2のモンテディオ山形、バレーボールVリーグのパイオニアレッドウイングスなどの試合観戦コーナーや、選手とファンの交流の場として活用。飲食の提供も行なう。運営は山形県スポーツ振興21世紀協会。

【 効 果 】

(1) 利用実績

平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日までの、ナナ・ビーンズ（4 階～8 階）の延利用者数は 538,262 人であり、平成 14 年 6 月 29 日オープン以来の利用者（平成 14 年 6 月 29 日～平成 15 年 3 月 31 日は 406,387 人）を合わせると、90 万人を突破している。

平成 15 年 4 月以降の毎月の利用者数は 4～5 万人となっており、毎月安定した利用状況となっている。また、各施設ともに特色ある事業を実施しリピーターの利用が多く、それぞれに利用者の高い支持を得ている。

「ナナ・ビーンズ利用者数」（単位：人）

		平成 14 年 6 月 29 日～ 平成 15 年 3 月 31 日	平成 15 年 4 月 1 日～ 平成 16 年 3 月 31 日
8F	スポーツプラザ 21	16,039	14,319
7F	学習空間 mana-vi	158,302	242,329
6F	ギャラリーなな	31,090	37,039
5F	子育てランドあ～べ	25,705	48,212
	高齢者交流サロン	54,700	51,707
	やまがた伝統こけし館	44,898	52,578
4F	飲食チャレンジショップ 「アキナス」	35,801	58,893
	インキュベートオフィス	39,852	33,185
合計		406,387	538,262

コミュニケーション施設活用商店街活性化事業

(2) 事業の効果と評価

1. 来街者の行動（来街者の増加）

松坂屋の閉店前同様とまではいかないまでも、ナナ・ビーンズの利用者数の増加により、商店街の来街者が増加した。特に、子育てランドを利用する子連れの若い女性層が増えた。年間 50 万人が利用する 100 円バスの効果もあり、商店街の回遊性が高まった。

2. 市民の交流機会

高齢者交流施設は、広い座敷にいくつものテーブルが並んでおり、囲碁、将棋を楽しんだり、おしゃべりをしたりで、毎日 2 時過ぎになるとたくさん的人が集まっている。お茶道具も用意されセルフサービスで自由に飲める。

高齢者でなくても、誰でも利用できるので、仕事途中のお勤めの人が休んでいたり、7 階の学習空間がいっぱいの時には、中学生、高校生が高齢者交流施設で勉強していたりなど、世代を超えた市民の交流の場となっている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業費の確保

延床面積 20,411 m²といった大型施設を活用し持続するには、賃借料、内装設備など多額の費用が必要であり、行政からの援助が不可欠である。

2. 人的体制

大型空き店舗であるため、商工会議所のノウハウだけでは対応できないところもあり、行政、商店街などからの人的支援を含んだ協力体制が必要である。

3. 事業の合意形成

事業を実施するに当っては、関係団体等との連携が重要であるため、県、市、入居者団体、ビルのオーナー、近隣商店街等と定期的に会議を開催し、情報交換を行って運営した。しかし、1～3階の民間テナントとの合意形成が困難な状況である。今後は民間テナントや商店街と連携したイベントを開催し、相乗効果を狙いたい。

【事業の実施ポイント】

大型店の空き店舗を活用した事業を継続して行うには、予算・経費等の確保が重要であり、人的な協力も含め、行政からの支援がなければ難しいと思われる。

【関連URL】

ナナ・ビーンズ HP <http://www.yamagata-cci.or.jp/nana/index.html>
山形商工会議所 HP <http://www.yamagata-cci.or.jp/>